

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「MONEYKit ベーシック (円)」は、内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象とし、安定した収益の確保を目指して安定運用を行ってまいりましたが、約款の規定に基づき2015年11月11日に繰上償還となりました。ここに謹んで運用の経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも弊社の投資信託に一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



MONEYKit ベーシック (円)

追加型投信／国内／債券／MMF



作成期間末 (2015年11月11日)	
償還価額 (税込み)	10,000円01銭
純資産総額	1,359百万円
作成期間 (2015年9月30日～2015年11月11日)	
騰落率	0.00%
分配金 (税込み) 合計	0円15銭

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

(繰上償還)

(信託終了日 2015年11月11日)

作成対象期間 (2015年9月30日～2015年11月11日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

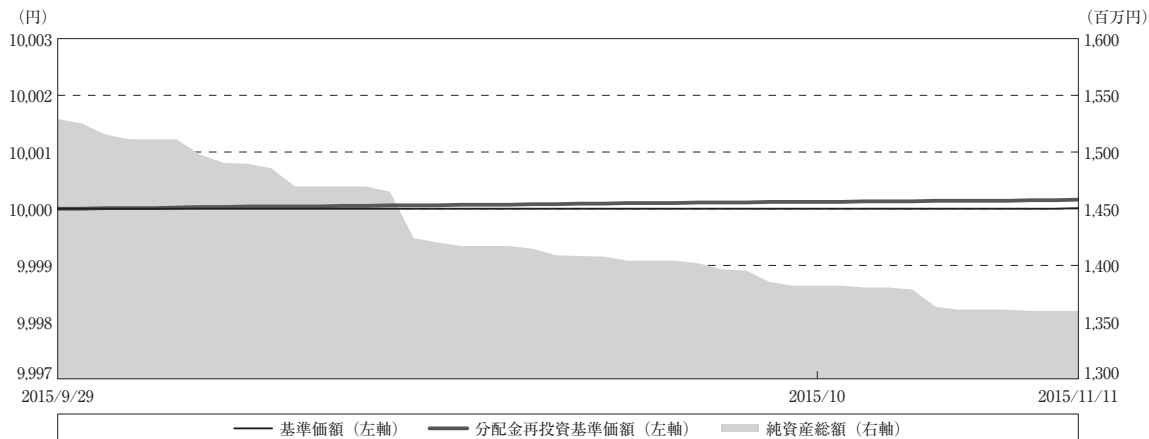
お問い合わせダイヤル: (03)6447-3100
(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2015年9月30日～2015年11月11日)



作成期首：10,000円

作成期末（償還日）：10,000円01銭（既払分配金（税込み）：0円15銭）

騰落率：0.00%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年9月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

現先取引、コール・ローンなどで運用を行い、安定した収益を確保しました。

1万口当たりの費用明細

(2015年9月30日～2015年11月11日)

項 目	2015/9/30～2015/11/11		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 0.01	% 0.000	(a) 信託報酬 = 作成期間に発生した信託報酬額 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(投 信 会 社)	(0.01)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(0.01)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(0.00)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
合 計	0.01	0.000	
作成期間の平均基準価額は、10,000円です。			

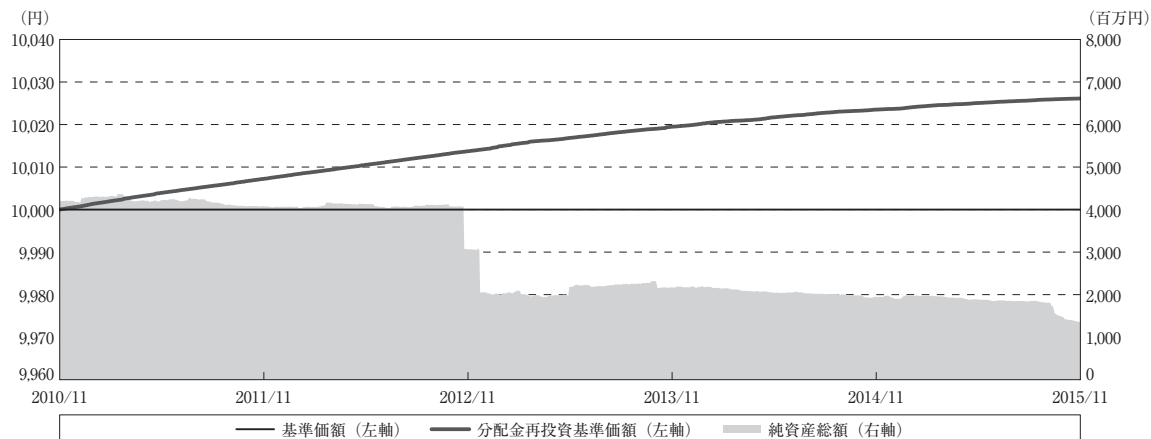
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年11月11日～2015年11月11日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金再投資基準価額は、2010年11月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年11月11日 決算日	2011年11月11日 決算日	2012年11月11日 決算日	2013年11月11日 決算日	2014年11月11日 決算日	2015年11月11日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000.01
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	7,210	6,590	5,690	4,010	2,580
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.07	0.07	0.06	0.04	0.03
純資産総額 (百万円)	4,199	4,075	3,064	2,172	1,944	1,359

(注) 上記騰落率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

投資環境

(2015年9月30日～2015年11月11日)

当作成期間の国内経済は、失業率が低位で推移し、有効求人倍率の上昇が続くなど雇用の回復傾向が確認されたものの、外需の低迷もあり鉱工業生産などは一進一退を繰り返していることが確認されました。

海外市場では、米国で2015年10月の非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回る増加となり、失業率も低下、さらに平均時給も2009年以来の高い伸びとなるなど雇用情勢の回復が示されました。また、10月下旬に行われた米連邦公開市場委員会（FOMC）で12月の利上げ開始の可能性が示されていたこともあり、市場では早期利上げ開始に対する期待が高まりました。ユーロ圏では、欧州中央銀行（ECB）が2015年10月の定例理事会で12月に追加緩和を行う可能性について討議されたことが示されたため、追加緩和期待が高まりました。

国内では日本銀行による積極的な量的緩和政策が継続し、市場への積極的な資金供給が行われました。日本銀行による大規模な国債買い入れは、市場金利に低下圧力を及ぼしました。

市場動向を国庫短期証券3カ月物利回りの動きで見ると、作成期間中0.00%を下回る水準での推移となりました。日本銀行が積極的な国債買い入れを継続する中で短期国債の利回りはマイナス圏で推移する状態が続きました。作成期末の国庫短期証券3カ月物利回りは-0.005%となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年9月30日～2015年11月11日)

当ファンドの運用にあたっては、元本の安全性を最優先とし、資金の流動性を確保しつつ安定した収益の確保に努めることとしました。

短期国債の利回りがマイナス圏まで低下したことに加え、日本銀行のオペの影響もあり市場における短期国債の流動性が著しく低下したことから、現先とコール・ローンを中心とした運用を行いました。

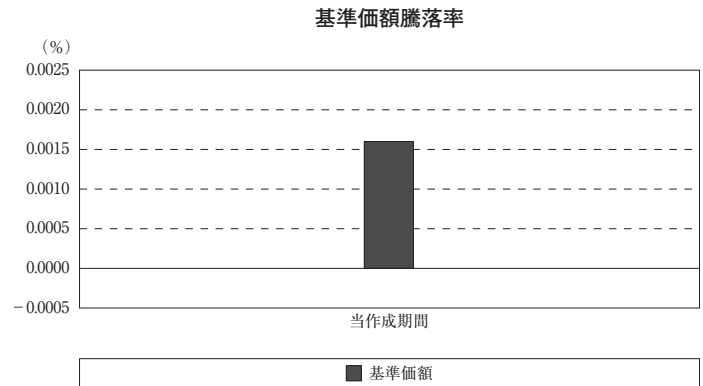
2015年11月11日をもって信託終了（繰上償還）とさせていただくことを議案とする書面決議を2015年10月14日に実施した後も、現先とコール・ローンによる運用を継続しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年9月30日～2015年11月11日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、作成期間中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額騰落率は、作成期間中の分配金（累計、税込み）込みです。

ごあいさつ

当ファンドは2015年11月11日をもって繰上償還を迎えました。

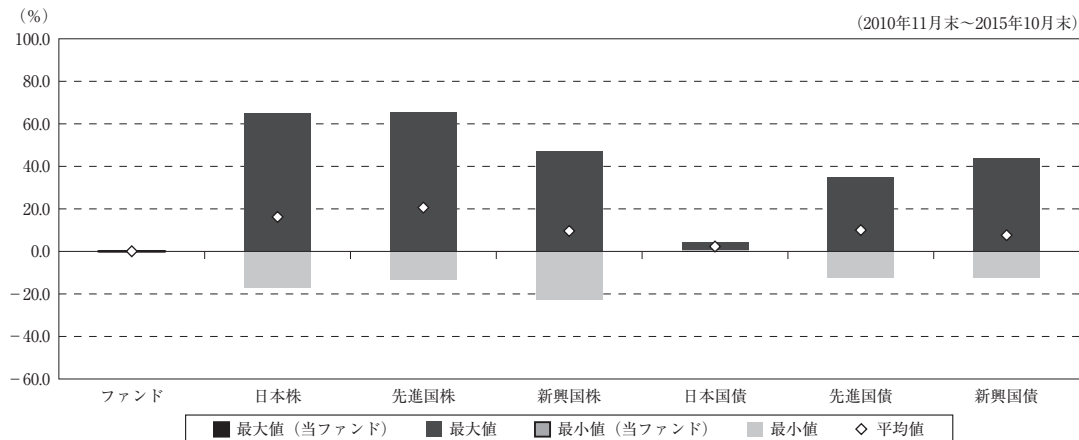
これまでの受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券／MMF
信託期間	無期限
運用方針	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主要投資対象	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資します。 ・信用力の高い商品（国債および政府保証債、適格有価証券、適格金融商品など）に投資します。 ・私募により発行された有価証券および取得時において償還金などが不確定な仕組債などへの投資は行わないものとします。
分配方針	原則として、信託財産から生ずる利益の全額を毎日分配します。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.1	16.2	20.6	9.6	2.3	10.0	7.6
最大値	0.1	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	0.0	-17.0	-13.6	-22.8	0.4	-12.7	-12.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年11月から2015年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA - BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P9の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年11月11日現在)

2015年11月11日現在、有価証券等の組み入れはございません。

純資産等

項 目	作成期間末 (償還日)
	2015年11月11日
純資産総額	1,359,853,045円
受益権総口数	1,359,851,983口
1万口当たり償還価額	10,000円01銭

* 作成期間 (2015年9月30日～2015年11月11日) 中における追加設定元本額は30,986円、同解約元本額は169,259,364円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.